

山梨大学医学部附属病院 [地域医療連携だより]

パートナー

2025
vol.21

令和7年2月発行

[特集] 診療科・部門のご紹介

腎臓内科／輸血細胞治療部／心臓血管外科／医療情報部



血液製剤納品業務～血液センターから病院窓口の輸血部職員へ…愛の献血リレー～

山梨大学医学部附属病院 診療科・部門のご紹介

腎臓内科

Department of Nephrology

我が国の慢性腎臓病（CKD）患者数は、令和5年度の調査で約2,000万人（成人の5人に1人）に増加したことが報告され、CKDは「新たな国民病」といわれています。

腎臓内科では、原発性糸球体腎炎、尿細管間質性腎疾患、遺伝性腎疾患、腎硬化症、糖尿病性腎臓病、血管炎症候群、ループス腎炎など多岐にわたる疾患に加えて、CKDの原因となる高血圧、糖尿病、膠原病などに対する治療を行っています。腎生検による組織学的診断や必要に応じた遺伝子検査を実施し、正確な診断と最適な治療法の提供を心掛けています。

それでも腎不全に至った患者さんに対しては、血液透析に必要なシャント造設術や腹膜透析のカテーテル挿入術を施行し、腎不全（血液透析・腹膜透析）およびその合併症に関する管理を行っています。また、当院

は県内で腎移植を選択できる唯一の医療機関であり、腎移植後の管理を当科が担当しています。さらに、腎疾患や腎不全に関する新規薬剤を用いた治験にも積極的に参加しています。

山梨県における腎臓病対策の中核として、山梨県慢性腎臓病予防推進事業を通じて、CKDの早期発見・進展抑制と透析導入患者数の減少を目指した取り組みを推進しています。



和やかな雰囲気の中でみんなが向上できる腎臓内科を目指して

輸血細胞治療部

Division of Transfusion Medicine and Cell Therapy

輸血細胞治療部では、安全で適正な輸血医療と迅速かつ適切な輸血検査を行っています。その証左として、I&A 認証（輸血機能評価認定）、ISO 15189認定（免疫血液学検査（輸血関連））、輸血管理料IIを取得し、自己血輸血採取、末梢血幹細胞移植用の幹細胞採取、骨髄移植用骨髄液の赤血球除去・血漿除去などの処理を行っています。設備は、血液型、不規則抗体の測定を全自動で行う輸血検査システム「オーソビジョン®」、末梢血幹細胞採取装置はテルモ社の「Spectra Optia®」を備え、先端医療では、細胞治療や再生医療に用いる細胞の調整を行う細胞プロセッシング室を設置しています。さらに現在は、血液悪性腫瘍の新規治療と

して脚光を浴びているCAR-T療法の導入準備を着々と進めています。当院では24時間・365日、輸血専任の検査技師が対応する体制を整え、県内随一の輸血細胞治療をお届けするため、一丸となって取り組んでいます。

全自動輸血検査システム
オーソビジョン®（オーソ）



末梢血幹細胞採取装置
Spectra Optia®（テルモ）



心臓血管外科

Cardiovascular Surgery

山梨大学心臓血管外科は、現在8名のスタッフで日々診療にあたっています。うち半数以上の6名が専門医であり、大学病院に求められる高度医療を実現するべく心臓大血管手術を中心とした外科診療を行っています。2024年は129件の人工心肺を用いた開心術（小児先天性心疾患を含む）を施行し、その他では腹部大動脈瘤に対する開腹手術、カテーテル治療や下肢の動脈閉塞に対する緊急手術など多岐に渡りました。

昨今の働き方改革で医師の労働時間に制限が設けられましたが、当科では心臓大血管手術を担当する医師が多数在籍している強みを活かし、急性大動脈解離などの緊急症例に対しても可能な限り迅速に手術を行い、救命に努めています。

2017年に開始した経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）は、循環器内科を中心に症例数を重ね、近年は従来の大動脈からアクセスが難しい症例に対して心尖部・上行大動脈・腋窩動脈などへ当科が外科的ア

プローチを提供することで、より多くの患者さんに適応できるようになりました。

2025年は僧帽弁膜症に対する手術として、正中開胸ではなく肋間小切開による低侵襲心臓手術（MICS）を当院でも開始するべく準備を進めており、より患者さんに負担の少ない治療の選択肢を広げられるものと期待しています。これからも山梨県の皆様の生命を守るため、心臓治療の第一線に立ち、スタッフ一同診療に励んでまいります。



医療情報部

Department
of
Medical Information

今年度、当院では電子カルテシステム的大幅な更新を実施しました。この更新により、診療現場の業務効率化と医療の質向上が期待されています。新システムは、直感的な操作性や柔軟なデータ管理機能を備え、医師・看護師だけでなくコメディカルスタッフにも使いやすい設計となっています。また、患者さんの診療情報をより迅速かつ正確に共有できるようになり、チーム医療のさらなる強化にもつながります。

システム導入に伴い、医療情報部では導入前から現場スタッフを対象とした研修会を複数回実施し、運用開始後もサポート体制を強化しました。特に、トラブル時の

迅速な対応や、ユーザーからの意見を反映した改善活動を重視しています。

また、先日実施された多数傷病者の受け入れ訓練、通称トリアージ訓練では、災害時に傷病者の受診動向を的確に把握できる簡易ITシステムの運用を担当しました。多数の傷病者が集中した際、適切に対応できるよう準備を続けています。

今後も最新技術を積極的に取り入れ、患者さんとスタッフの双方にとって安心・安全な医療環境を支えるインフラ構築に努めてまいります。



セミナー・講演会等のお知らせ

対象：医療従事者

開催名	主催	開催日	開催場所	お問合せ先 (内線番号)
第31回 山梨緑内障研究会	山梨大学医学部 眼科学講座 他 共催	2025年2月27日	オンライン シャトレーゼ ホテル談露館	内線 2372
第26回 山梨網膜研究会	山梨大学医学部 眼科学講座 他 共催	2025年3月6日	オンライン 古名屋ホテル	内線 2372

※上記セミナー・講演会へのお問合せは TEL:055-273-1111 (代表) へお掛けのうえ、お問合せ先の内線番号をお伝えください。

地域医療連携登録機関からの『初診患者さんの予約方法』

1. WEB予約

スマートフォンからも利用可能な「紹介患者予約システム(WEB予約)」を導入しています。患者さんの受診時に、予約の空き状況の確認、日程調整が行え、即時予約が可能です。ぜひ地域医療連携登録機関制度のご案内を一読いただき、制度にご賛同の際は、「地域医療連携施設協定書」のご提出をお願いします。



詳しくは、右記をご覧ください。 | 地域医療連携登録機関制度について
<https://www.hosp.yamanashi.ac.jp/5917/>

2. FAX予約

当院ホームページより予約申込書をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、紹介状と合わせ地域医療連携室までFAXください。

地域医療連携室

FAX:055-273-9832

(平日8:30~17:00)

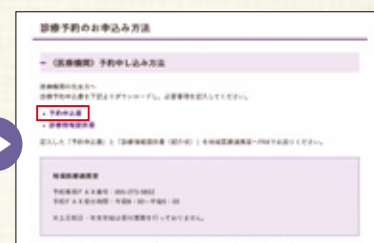
【ダウンロード手順】

山梨大学医学部附属病院 <https://www.hosp.yamanashi.ac.jp/>

当院ホームページにアクセスし、
「医療機関の方へ」をクリック



「初診患者さんの予約について」を
クリック



「診療予約のお申込み方法」から
「予約申込書」をダウンロード

【お問い合わせ】 山梨大学医学部附属病院 地域医療連携室 TEL:055-273-9815